

板橋区事務事業評価表

令和2年度 事務事業評価表 (令和元年度事務事業)

事務事業名	110100 - 002 児童福祉施設維持補修等経費					
担当所属	子育て支援施設課	担当者	板橋 太郎	連絡先	3579-0000	
関連所属	子ども政策課 保育サービス					
【事務事業基本情報】						
基本目標	I 未来をはぐくむあたため					
基本政策	I-1 子育て安心					
施策	110100 子育て施策の総合的な推進					
戦略展開	1: 子育て世代にとっての魅力創造・安心安全	予算科目	福祉費			
		項目	児童福祉費			
		目	児童福祉施設			
		事業1	児童福祉施設			
戦略事業名					事業種別	自治事務
根拠法令要綱						
計画事業番号	001	事業期間	~		施設種別	児童福祉施設

「基本計画2025」で示した、基本目標、基本政策、施策の3層からなる施策体系を記載しています。

事業種別を表示しています。
【選択肢】自治事務、法定受託事務

【事業概要・環境変化】

事業概要 【対象】 区立児童福祉施設等 53施設 (内訳)・区立保育園が親施設となっている施設 38施設 (児童館、集会所等が併設の場合でも1施設でカウント) ・区立児童館が親施設となっている施設 15施設 (あいキッズ、集会所等が併設の場合でも1施設でカウント) 【手段】 老朽化している児童福祉施設等を安心・安全・快適な施設とするため、設備の保守点検、小破修理及び改修工事等を行う。 【意図】 老朽化している児童福祉施設等を安心・安全・快適な施設とするため、設備の保守点検、小破修理及び改修工事等を行う。 【成果】 老朽化している児童福祉施設等を安心・安全・快適な施設とするため、設備の保守点検、小破修理及び改修工事等を行う。	環境変化・備考 【現状の周辺環境】 就学前人口の増加、女性の社会進出、家庭環境の多様化等により、保育需要が増加している。 【区民からの意見】 児童福祉施設等を安心・安全・快適に利用するため、利用者や各施設、近隣の方から施設に対する改善等の要望がある。 区民ニーズや他自治体との比較など、事務事業を取り巻く環境とその根拠を記載しています。
--	--

事務事業の概要を、【対象】、【手段】、【意図】、【成果】の視点で記載しています。

【指標の推移】

区分	指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度			令和2年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	
① 活動指標	計画工事・緊急工事件数※1	件	26.0	41.0	—	15.0	—	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
② 活動指標	小破工事件数※2	件	121.0	192.0	—	202.0	—	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
③ 活動指標	修繕件数(5万円未満)	件	201.0	170.0	—	183.0	—	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
④ 活動指標	直営修繕等件数	件	—	—	—	—	—	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
⑤		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	

事務事業の対象数や活動量、成果を数値化した指標(対象指標、活動指標、成果指標)を記載しています。

特記事項

- (※1) 130万円超の工事件数を集計(130万円超で予定していた計画工事が、結果的に130万円以下となったものも含めて集計)。
- (※2) 130万円以下の工事件数を集計。

【投入コスト・人員】

年度	単位	平成29年度 決算	平成30年度 決算	令和元年度 予算	令和元年度 決算	令和2年度 予算
フルコスト	千円					
事業費	千円					
特定財源	千円					
国庫支出金	千円					
都支出金	千円					
特別区債	千円					
受益者負担	千円					
その他	千円					
一般財源	千円					
人件費	千円					
正職員	千円					
人員	人					
再任用等	千円					
人員	人					
その他職員	千円					
経費	千円					
間接費	千円					
減価償却費	千円					
その他	千円					
コスト指標	1施設当たりの維持補修等経費	千円				

- フルコスト
事務事業のコスト(事業費、人件費等)を年度別に記載しています。(単位:千円)
- 事業費
年度別に一般会計の予算額と決算額を記載しています。(単位:千円)
- 人件費合計
事務事業を遂行するために要した人件費を記載しています。(単位:千円)

※人件費の算出単価(1人あたりの年間平均単価)
※30年度以降は退職手当引当金・共済費を含めています。

	29年度決算	30年度決算	令和元年度予算	令和元年度決算	令和2年度予算
正規職員	6,770	8,449	8,425	8,425	8,425
再任用等	3,330	4,320	4,356	4,356	4,356

- 減価償却費は、令和元年度から対象の事務事業に数値を落としこんでいます。

フルコストの増減理由

計画工事、負担金の経費減(平均)
※コスト指標の総施設数は53施設

単位(件数等)あたりどのくらいのコストがかかっているかを測る指標を記載しています。

【前回の二次評価結果への対応状況】

前回の二次評価内容	
評価評語／改善の方向性	順調／工夫して継続
老朽化している児童福祉施設等について、施設状況や運営状況にあわせて、各施設と連携をとりながら、施設の保全のための改修や保守点検等の維持管理を行った。今後も建物の耐用年数を踏まえた劣化状況や民営化予定園等を考慮し、計画的な改修及び保守点検等を行っていく。	

前回の二次評価結果への対応状況	
対応状況	対応済
老朽化している児童福祉施設等の安心・安全・快適な運営・維持管理のため、各児童福祉施設等からの要望等を聞き、施設の状況にあわせて、適切・迅速に修繕、小破修理、改修工事及び保守点検等を行った。また、各施設の状況把握を目的として実施している現況調査や設備の保守点検等で判明した不具合等に迅速に修理等の対応を行った。	

前回の二次評価結果への対応状況を下記から選択し、その理由を記載しています。
【対応状況】 対応済、一部対応済、検討中、対応困難

【一次評価】所管課長による評価

[活動結果や成果の分析]		達成度	-
1. 活動指標の計画値を満たしたか			-
2. 成果指標の計画値を満たしたか			-
3. 計画どおり進捗しなかった理由			-

事業指標の達成状況などを踏まえ、計画通り進捗しているか、所管課長による評価を記載しています。
【達成度】1～2のチェック項目に基づき、評価の高いほうから、「A」「B」「C」を表示しています。
 ※活動指標・成果指標が無い場合や目標値が無く達成率を出していない場合には、「-」表示としています。

[施策への貢献度]		貢献度	A
1. 上位施策に貢献しているか	大きく貢献している		
保育園・児童館等の児童福祉施設を安心・安全・快適な環境が確保でき、ライフスタイルに応じた			

上位施策に貢献しているかどうか、所管課長による評価を記載しています。
【貢献度】貢献度の高いほうから「A」「B」「C」を表示しています。
 ※上位の施策が無い場合には貢献度を「-」表示しています。

[フルコストの把握・分析]		コスト評価	A
1. コストは最適であるか	最適である		
2. コスト最適化への取り組み状況			
工事で使用する材料及び工事手法等について、費用対効果を考慮したうえで判断している。また、スケールメリットを活かしたコスト削減及び事務の効率化のため、各施設の修理・工事等は、可能な限りまとめて起案している。			

コストは最適であるかどうか、所管課長による評価を記載しています。
【コスト評価】評価の高いほうから、「A」「B」「C」を表示しています。

[改善の方向性]	
1. 方向性	工夫して継続
2. 具体的な手段	-
3. 改善策について	

[活動結果や成果の分析]や[施策への貢献度]、[フルコストの把握・分析]を踏まえ、事務事業の改善の方向性とその手段について、所管課長による評価を記載しています。

【二次評価】所管部長による評価

評価評語／改善の方向性	順調／工夫して継続
老朽化している児童福祉施設等について、施設状況や運営状況にあわせて、各施設と連携をとりながら、施設の保全のための改修や保守点検等の維持管理を行った。今後も建物の耐用年数を踏まえた劣化状況や民営化予定園等を考慮し、計画的な改修及び保守点検等を行っていく。	

《評価評語・改善の方向性》
 「評語」とそれに見合った「改善の方向性」を組み合わせることで評価しています

【評語】		【改善の方向性】
順調	目標の達成に向け順調に進捗し、事業継続により目標達成が見込める状態	工夫して継続
概ね順調	必ずしも上向き傾向ではないが、ある程度のレベルで進捗している状態	目標値・指標の見直し
停滞	目標に対して進展していない状態	事業手法の見直し
達成	計画どおり、または計画より早く進捗し、目標を達成した状態	事業の廃止